

起業のマインドを学ぶ

ライフサイエンス アントレプレナー 入門塾

2022

開催期間

2022 / 5 / 28 Sat.

~

2023 / 1 / 19 Sat.

13:00~17:30
(全9回共通、交流会も含む)

大学・研究機関・産業界の第一線で活躍する講師による専門分野の入門的な講義と少人数制が魅力のセミナーです。

グローバルな視点も織り交ぜたライフサイエンスビジネス全般の現状・課題のほか、起業・事業開発に役立つ知財の知識やマインドセット、オープンイノベーションについても学べます。

当プログラムでは公益財団法人都市活力研究所が「バイオ講座」として開催しており、今回で11年目を迎えます。

対象

- 学生／大学研究機関の研究者／企業の研究者／事業開発担当者
- 健康科学・医療に関連する研究・事業開発・起業に興味を持つ方／または支援する方

定員

20名

申込方法

WEBよりお申込み

<https://urban-ii.or.jp>

参加費

社会人 20,000円 学生 5,000円
(※全9回分、交流会費を含む)

※交流会でのネットワークも、この塾の重要なカリキュラムの一部です。全9回ご出席を前提として交流会費を含む参加費を開講日に徴収いたします。

会場

公益財団法人都市活力研究所
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪ナレッジキャピタル タワーC 7F

お問合せ

公益財団法人都市活力研究所 担当: 味村
<https://urban-ii.or.jp/>

Mail mot11@urban-ii.or.jp TEL 06-6359-1322

ご注意

・全9回出席することを前提でお申込み下さい。・参加者全員とのネットワーク形成のために、交流会はプログラムの一部としておりますので必ずご参加ください。・各講義の習熟度、受講の感想などを把握するため、アンケートへの回答とプログラム終了時にレポートの提出をお願いします。・8回以上の出席、および修了レポートを提出された方には修了証を授与いたします。

ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾2022 カリキュラム

「入門塾オリエンテーション」

森 一郎

神戸大学科学技術イノベーション研究科
客員教授
株式会社ナティアス 研究開発部長



ライフサイエンス系における起業を目指すにあたり、どのような知識やマインドセットが必要なのでしょうか？今一度皆さんと確認しながら、当入門塾を最大限利用していただけるようにご説明します。

味村 和洋

公益財団法人都市活力研究所
主席研究員



ようこそ、11期目を迎えるライフサイエンス・アントレプレナー入門塾へ。今年は大開催し、皆さんとの交流を楽しみにしています。主催者として
①受講生の皆さんが、リラックスして学習や交流ができるよう快適な環境づくり、
②ライフサイエンス分野での事業創造や起業のための支援、
③ネットワークを広げること、のお手伝い等ができればと考えています。

①「リーダーシップの本質と実践」

能見 貴人

FORESIGHT & LINX 株式会社
代表取締役社長



今日、あらゆる局面でリーダーシップの重要性が唱えられている一方でリーダーシップの本質とは何かという問いに明確に答えられる人は少ない。本講では、リーダーシップに関する様々な疑問に答えつつ、リーダーシップの本質を定義し、リーダーとして心に留めておくべき重要な点を解説します。

②「ライフサイエンスでの起業：Nexuspiral 設立での経験」

増田 直之

Nexuspiral 株式会社 代表取締役社長

※入門塾の修了者



2019年に共同研究者とともにNexuspiral株式会社を設立しました。ライフサイエンス分野での起業・新規事業立ち上げなどにおいて少しでもお役に立つことがあるかもしれません。会社設立までの経緯と立ち上げた後の様々な経験についてお話しさせていただければと思います。

③「産総研におけるマイクロバイオームの産業化に向けた取り組み」

関口 勇地

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
生命工学領域 バイオメディカル研究部門
総括研究主幹



産総研は我が国最大級の公的研究機関であり、技術シーズを事業化に繋げるための橋渡し機能に注力しています。弊所でのライフサイエンス分野での取り組みとしてマイクロバイオームの産業化に関する事例を取り上げます。特に人と直接接触する腸管等ヒトマイクロバイオームの疾患等の概説、産業界との連携について紹介します。

④「マイクロバイオーム創薬スタートアップ実例紹介 - 設立とテクノロジースカウティングの舞台裏 -」

塩田 淳

日本マイクロバイオファーマ株式会社
代表取締役社長
慶応義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
特任教授



米国やイスラエルにおけるマイクロバイオーム創薬スタートアップの設立やテクノロジースカウティングの実例を通じて、どの様なプロセスでスタートアップが立ち上がっていくのかその舞台裏を紹介。技術やサイエンスなどで語られがちな創薬ベンチャーですが、イノベーションは異文化の接点で生まれる事を実感して頂ければと思います。

5

28

(土)

6

18

(土)

⑤「勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本」 デジタル×バイオ時代の到来と神戸大学の挑戦

山本 一彦

神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科 教授
経営学研究科 (MBA) 教授 (兼任)



合成生物学とデジタルプラットフォームの急速な発展と融合により、微生物/藻類等の生物資源を使って、有用物質を安定的かつ大量に生産・利用することができる、「デジタル×バイオ」時代が到来した。

勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本の現状及び課題について、海外の先端事例等を交えながら考察する。その上で、わが国のバイオエコノミーを牽引しうるベンチャー・エコシステムの構築を目指す神戸大学の取り組みを紹介する。

⑥「勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本」 【鼎談】神戸大学発バイオベンチャー 新モダリティへの挑戦 (司会：山本一彦)

遺伝子治療、マイクロバイオーム治療、経口ワクチン治療等の新モダリティへの挑戦について、神戸大学発バイオベンチャーのサイエンティスト&アントレプレナーが語り合う。



白川 利朗

神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科 教授
株式会社イムノロック
共同創業者・取締役



奥村 亮

株式会社バイオパレット
取締役 (CSO/CBO)



山田 尚之

株式会社シンプロジェン
取締役 (CTO)

CSO : Chief Science Officer
CBO : Chief Business Officer
CTO : Chief Technology Officer

⑦「SDGsの世界感を体験するSDGsワークショップ」

今田 大介

一般社団法人インバウンド・
ダイバーシティ協会 代表理事

※入門塾の修了者



最近メディア等でも取り上げられている「SDGs」。17のゴール、169のターゲットなど聞かれたことのある方もいらっしゃると思います。座学でSDGsを学ぶのではなくワークショップ形式で、カードゲームでSDGsの世界感をシミュレーション体験し、SDGsをライフサイエンス分野にてどのように取り入れることができるか一緒に考えましょう。

(※コロナ等で対面でのカードゲームができない場合は、オンラインによるSDGsの講義になります)

⑧「製薬産業におけるオープンイノベーション」

有岡 伸悟

塩野義製薬株式会社事業開発部
オープンイノベーショングループ

※入門塾の修了者



近年の製薬会社単独で医薬品を上市する難しさから、多くの製薬会社はアカデミアやベンチャー企業で見出された新規アイデアや医薬品の種を見出し、うまく開花させる取り組みに注力している。今回はその取り組みを概観すると共に、弊社の事例をご紹介します。私も皆さんと同じ本講座の受講生でしたので皆さんに近い視点で共有できればと思います。

⑨「IT業界のメソッドに学ぶ経営戦略とマネジメント手法」

中井 亮

株式会社イー・インテリジェンス
代表取締役
一般社団法人キャン・イト
代表理事



IT技術の発展の歴史の中でこれまで生み出され、体系化されてきたさまざまなメソッドは、IT業界以外の一般社会やビジネスにおいても汎用性が高く有用なものが数多く存在しています。本講義ではその中でもベストプラクティスとされるものを中心に、これから新たなビジネスに挑戦される皆様にもぜひ取り入れていただきたいメソッドをご紹介します。

⑩「グローバル化の壁：20%の仲間入りを果たす方法」

川邊 裕

独立行政法人日本貿易振興機構
神戸貿易情報センター 係長



本講義では先人起業家たちが国際化に踏み出せずにいる背景をアンケート調査結果やこれまでの支援事例に基づき解説し、多くの起業家が直面している壁の存在を明らかにします。講義後半では国際化を志した際に有用な支援サービスの探し方、支援機関の内情を踏まえた上での活用方法についてご説明します。

⑪「産学官連携による事業創出に向けての取組み」

小島 ゆかり

株式会社 COPEL コンサルティング
代表取締役 CEO

※入門塾の修了者



ヘルスケア分野の事業創出支援を2012年から行っており、その中で企業とアカデミアの方々のマッチングや、セミナー等の企画・運営を行ってきました。起業した後は、主にヘルスケア分野の事務局運営や組織マネジメントを行うとともに、中小企業の経営支援、事業創出支援を行っています。起業から現在までの産学官連携の取組みや地域と共創するにあたっての課題や今後の展望について事例を交えてお話いたします。

⑫「事業化を目指す研究者のための特許と契約」

浅野 慈啓

国立循環器病研究センター
産学連携本部長

※入門塾の修了者



様々な企業や大学等とのコラボレーションを多数推進してきた実体験を踏まえ、研究開発から事業化における知財戦略や契約交渉を中心に、企業とアカデミアの産学連携・企業間の共同研究開発を如何に上手く進めるか等、具体的事例を含めてお話します。研究成果を事業につなげ成功させる上で、特許の観点で先ず考えるべき重要ポイントに絞り、あらゆる部門の方々も、最低限押さえておきたい特許や契約のエッセンスと考え方について、皆様と一緒に考えたいと思います。

⑬「医療機器開発の現状と課題」

保多 隆裕

神戸大学
未来医工学研究開発センター
医学部附属病院臨床研究推進センター
特命准教授

※入門塾の修了者



わが国の医療機器市場規模はおよそ3兆円で年々拡大しているものの、欧米や新興国に比べてその成長率は低く、数年のうちに中国に追い抜かれるのは確実である。加えて国内市場の多くは欧米製品で、特に治療系機器の輸入依存度は際立っており、医療機器の貿易収支は1兆円規模の大幅赤字である。講義では医療機器の開発のプロセスおよび日本の医療機器産業の現状と課題、さらには医療機器産業のエコシステムについて解説します。

ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾2022 カリキュラム

11 / 19 (土)

⑭「名もなきパソコン少年が医療機器ベンチャーを起業して感じた人生において大切なこと」

中村 秀剛

アットドウス株式会社 代表取締役
中小企業診断士
東洋大学大学院
経営学研究科非常勤講師



主に以下の5つの項目にフォーカスしながら、行動するチャンスに出会うヒントとなるよう、お話しします。

- ① 起業までの経緯と起業後の歩みからひも解く起業家として大切なこと
- ② 研究開発型スタートアップで大切にしたい価値観と行動
- ③ 日本で医療機器ベンチャーを起業することの価値と役割
- ④ スタートアップエコシステムやアクセラレーション・オープンイノベーションの日本における現状およびスタートアップから見た活用の方法
- ⑤ 海外展開におけるリバーシイノベーションという考え方

⑮「新規事業、スタートアップにおけるファイナンス戦略」

保田 隆明

慶應義塾大学
総合政策学部 教授



本講義では投資すべき案件と投資を見送る案件の判断、投資決定の場合、資金はどのように調達するのか、そしてその結果として、リターンをステークホルダー（債権者と株主）にどう配分するか、というのが基本内容となります。一方で伝統的なファイナンス手法以外にも、クラウドファンディングなどの新たな代替的な資金調達、大企業における社内ベンチャーキャピタルなどそれらを網羅することでこのエリアについての全体的な理解をしていきます。

12 / 17 (土)

⑯「デザイン思考」

祇園 景子

神戸大学 V.School 准教授

※入門塾の修了者



一言で「デザイン」といっても、服飾デザイン、建築デザイン、グラフィックデザインなど、様々な分野で使われている言葉です。

本講義では、デザイン思考を取り入れながら、思考の発散・収束をワークショップを通じて体験していただきます。多様な人たちと一緒に対話しながらアイデアを導き出す過程を楽しんでください。

⑰「高齢化社会へ向けた「質」とナッジを用いたスマートセルフケアDX」

並木 幸久

株式会社国際総合知財ホールディングス
代表取締役社長
九州大学グローバルイノベーションセンター
客員教授



価値をお金に換えるための公理を学習し、お金を作れるビジネスと作れないビジネスの法則を解説します。また、健康経済と行動経済学の視点から医療・健康を含むヘルスケア領域において、健康ナッジシステムを用いた高齢者の健康意識を改善させる事業やプロスポーツ選手の運動パフォーマンスを向上させる事業を解説しながら高齢化社会へ向けたスマートセルフケアシステムの社会実装を考察します。

1 / 21 (土)

⑱「核酸医薬品研究開発の動向」

森 一郎

株式会社ナティアス 研究開発部長
神戸大学科学技術イノベーション研究科
客員教授



近年核酸医薬品開発の成功事例が多く報告され、身近にはコロナ治療薬としてRNAワクチンが実用化されました。ただ、核酸医薬品と言ってもその種類は多く、アンチセンス、siRNA、miRNA、mRNA等々でそれらに関わるベンチャーが世界中に多く存在します。その概要および、化学合成による核酸医薬品（塩基長20前後）開発の現状と課題について解説します。

⑲「ベンチャースピリット」

安達 宏昭

株式会社創晶 代表取締役社長



大阪大学発ベンチャー「株式会社創晶」を32歳で起業してから17年が経ちました。その間、ベンチャー起業を7回、社会福祉法人や一般社団法人の理事を経験するなど、充実した毎日を送っています。事業分野はそれぞれ異なり、多岐に渡りますが、私なりに専門性を持ち、好奇心と情熱を維持して、走破してきました。その原動力が、ベンチャースピリットであると感じています。新しいことへの挑戦や積極的に行動するためのヒントになればと思います。

ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾2022

入門塾の目的

ライフサイエンス分野において事業開拓や起業にご関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当の方々を対象とした企業人材育成を目的とする入門塾です。

オムニバス形式で連続9回のアントレプレナーシップ入門講座をご用意いたしました。

健康や医療ビジネス全般の現状・課題理解、事業開発や起業のために役立つ基本知識、マインドセット、SGDs等を大学・研究機関・産業界の第一線で活躍中の講師陣から異業種・異分野の方にも分かりやすく講義して頂きます。

また、知識のみならず、講師を含む参加者全員とのネットワーク形成も受講者の皆さんの大きな目標として頂きます。

さらに、大阪・関西を中心としたライフサイエンス分野の産業振興を目的として、本分野における事業化・起業の支援情報の提供等を通じて、受講するみなさまが地域のエコシステムの一員として参画していただけるようご支援いたします。

受講理由・入門塾活用例

職 種	所 属	活 用 例
研 究 者	大学院、アカデミア	企業人との接点、オープンイノベーションや起業についての学びを得る
起業支援担当者	シンクタンク、 監査法人の若手・中堅	ライフサイエンスビジネスの現状理解とネットワーク
コーディネーター	大学・企業等の産学連携担当者 オープンイノベーション担当者	異分野との接点、外部ネットワークの拡充
研究開発・ 事業開発担当	大企業 (製薬・食品・化粧品・IT 関連等)	オープンイノベーションによる企業内 起業を目指す
—	中小企業	新規事業・連携先の模索、自社技術の活用価値を 高めるための情報収集、ネットワークづくり

会場



公益財団法人都市活力研究所

TEL: 06-6359-1322

大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC7F

おことわり

当入門塾の講義は左記の会場にて実開催することを予定しておりますが、昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、状況によりオンライン講義(※)への代替え、または日程の変更などをさせていただくことがございますので予めご了承ください。

- (※) オンライン受講のために必要な環境
- ・インターネット接続環境
 - ・パソコン (Mac or Windows 等)
 - ・WEB ブラウザ (IE or Chrome 等)
- 【配信システム】
- ・Zoom